



診療所での医薬品備蓄の確認

診療所での情報共有

日御碕地区で当院のDMATが活動しました

高度外傷センター 講師 しもじょう よしひで
下条 芳秀

2024年7月9日(火)から11日(木)にかけて、島根県東部を中心に記録的な大雨となりました。

降り始めからの総降水量は、出雲市芦渡町で265.5ミリを観測し、この期間だけで月降水量の平年値を超え、最大12時間降水量は観測史上1位を更新しました。その大雨の影響で7月9日(火)17時ごろ県道29号(大社日御碕線)において道路が崩落し日御碕地区が孤立状態になる被害が発生しました。

7月10日(水)に島根県から当院へDMAT隊派遣要請があり、第1次隊を日御碕地区に派遣しました。同隊は県DMAT調整本部、出雲市役所、出雲保健所との合同ミーティングにて被害状況を共有した後に、医療ニーズの把握、診療所の設備確認、血液透析患者の移動手段確保を主な目的として日御碕コミュニティセンターで活動を行いました。その中で自治会代表者によって構成される日御碕地区災害対策本部会議に参加し医療ニーズを検討しました。本件においては「日御碕診療所の医療体制再構築」を活動の中心とすることを決定し、続いて7月12日(金)には第2次隊を派遣しました。前日(11日)に活動した島根県立中央病院DMATから申し送りを受けた後に日御碕診療所にて診療運営を行い、合計16名の患者対応を行い活動を終了しました。

最後に、崩落現場から日御碕診療所までの我々の誘導など被災者でありながらもDMAT活動にお力添え頂いた日御碕地区の皆様にご感謝申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈りしています。

島根大学医学部附属病院災害医療派遣チーム(DMAT)

第1次隊：下条芳秀(医師)、田中航(医師)、立脇陽一(看護師)、矢野博己(看護師)、石原慎之(調整員)

第2次隊：田中航(医師)、守田美和(医師)、立脇陽一(看護師)、新谷貴大(調整員)

問合せ先 災害医療・危機管理センター (DiMCO) TEL : 0853-88-3040

